

令和6年 **5**月の大阪**森林**便り



5月の木の話 **木材用接着剤の特徴**

*木工用ボンド（酢酸ビニル樹脂系接着剤）は、温度変化によって接着性能が大きく変化します。

*0℃以下の低温では脆くなり、50℃以上では逆に軟化して接着力が大幅に低下する傾向があります。

*1950年代以前には、木材用接着剤として動物性タンパク質系のかわ、カゼイン、および植物性タンパク質系の大豆グルーなどが使われていました。

*現在では工芸、楽器などの特殊な用途にのみ使用されています。

*これらの天然系接着剤は乾燥状態で強固な接着力を発揮しますが、加熱すると溶融して何度でも使用が可能です。

（木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100問より抜粋引用）



住宅用国産木材が下落 荷動き振るわず

*杉正角の4月の東京流通価格は、3月比で2.7%安。

*桧正角の価格も同2%下落。

*建築資材の価格上昇や人手不足を背景とした人件費の上昇などを受けて住宅自体の価格が上がり、住宅需要を鈍らせています。

（2024年4月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



国産合板、底打ち感 値上げで下落一服

*国産針葉樹合板の流通価格が3月中旬以降、横ばいで推移。

*最高値だった2023年5月より20%安。2024年初めに比べると2%安。

*主要メーカーは、販売価格を4月から3月比で5~7%引き上げ表明。

*主要合板メーカーは、フル生産時の8割程度の稼働。

（2024年4月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）